

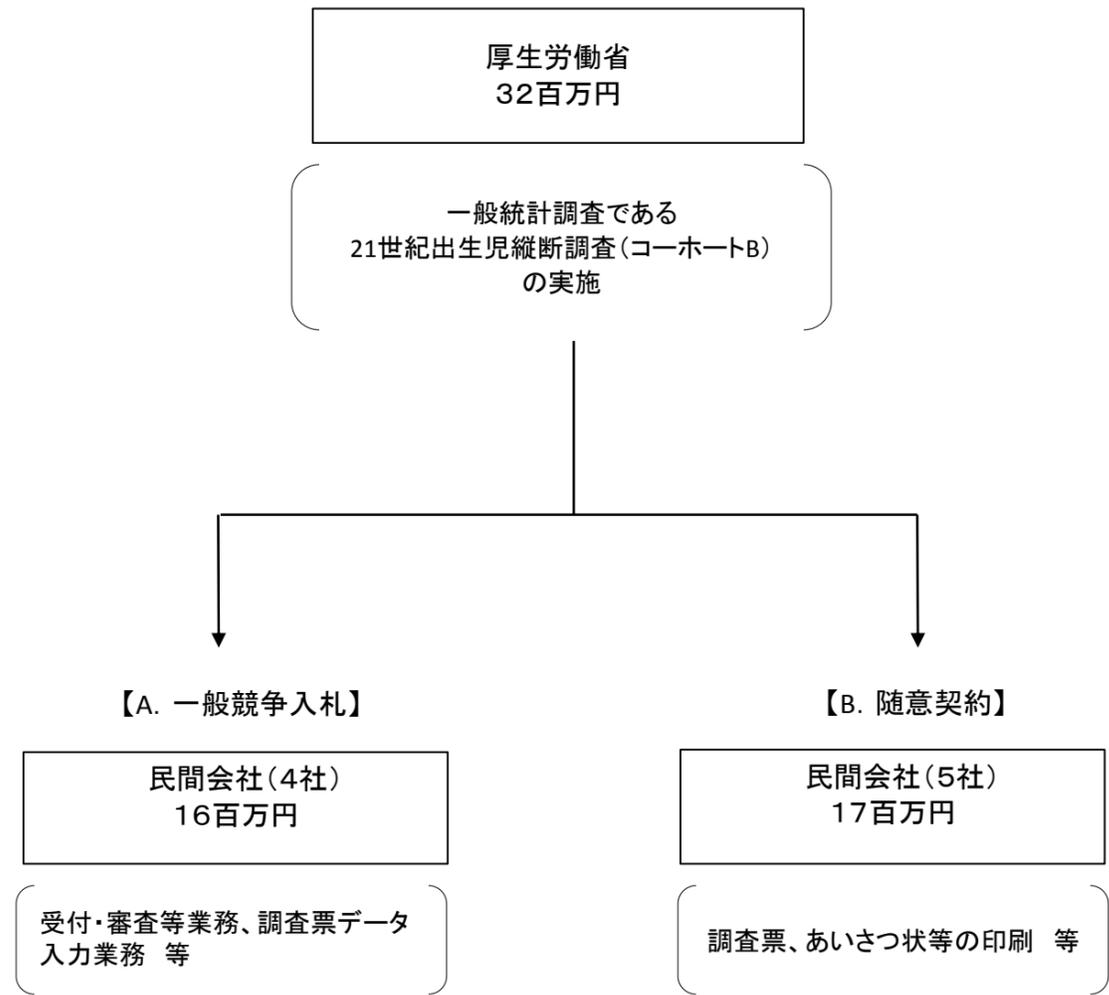
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	縦断調査費（出生児縦断調査コーホートB）		担当部局庁	大臣官房統計情報部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	人口動態・保健社会統計課 世帯統計室		室長 田邊 勝美		
会計区分	一般会計 労働保険特別会計雇用勘定		政策・施策名	VI-1-1 男女労働者が多様な個性や能力を發揮でき、かつ仕事と家庭の両立ができる雇用環境及び多様な就業ニーズに対応した就業環境を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計法(平成19年法律第53号)第19条		関係する計画、通知等	「子ども・子育てビジョン」(平成22年1月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成22年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施のための基礎資料を得ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2010年5月10日から24日の間に出生した子を対象として、調査票の配布及び回収について往復郵送方式により行う。提出された調査票については当省において集計を行い、その結果を公表する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	45	35	40	33	30	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	45	35	40	33	30		
	執行額	41	27	32				
執行率(%)	90.9	74.8	81.2					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	この事業は、省内各部局が実施している各種施策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施するものであるため成果目標を設定していない。		成果実績	—	—	—	—	
			達成度	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	調査客体:約38千人(当初見込み) 公表予定:平成25年11月(平成23年度調査分) 平成26年8月(平成24年度調査分)		活動実績 (当初見込み)	千人	44	※未公表のため — (約39)	※未公表のため — (約38)	— (約35)
			算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X:24年度執行額(32,375千円) Y:調査客対数(24年度当初見込み)(約38,000人)				
単位当たりコスト	852(円/1調査対象当たり)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	印刷製本費	5	5	調査客体の減少による減				
	通信運搬費	14	13					
	雑役務費	8	7					
	消耗品費	6	5					
	計	33	30					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的とした重要な事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査であり、地方自治体や民間等に委ねては実現が困難であり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	—	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	随意契約については会計法令上認められている少額の随意契約である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	調査協力謝礼の単価を減額するなどコスト削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業は印刷製本費、通信運搬費、雑務費、消耗品費で構成されており、必要最小限に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一般競争入札の結果、入札差額が生じたためである。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	調査員調査に比べ低コストで実施できている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物は、厚生労働行政施策の企画・立案に資する基礎資料となっており、十分に活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>今後も調査を確実に実施することで、少子化対策等の厚生労働行政施策のための基礎資料を得る。 また、調査の結果は、遅滞なく公表する。 調査の実施に当たっては、今後も適切かつ効率的な予算の執行に努めることとする。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	<p>本事業は、平成22年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施のための基礎資料を得ることを目的に調査客体に対して調査を行う事業であり、事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
—					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	897	平成24年	779

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)そごう・西武			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	第3回 謝礼品の購入	10			
計		10	計		0
B.郵便事業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	郵便代	10			
計		10	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.民間会社(4社)【一般競争入札】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)そごう・西武	第3回 謝礼品の購入	10	1	99.8%
2	テンブ・スタッフメディア(株)	第3回 受付・審査等業務	5	2	66.6%
3	(株)イシカワ・コーポレーション	第3回 調査票等梱包・発送業務	1	1	70.5%
4	(株)ケーシーエスデータワークス	第3回 調査票データ入力業務	1	6	48.0%
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.民間会社(5社)【随意契約】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	郵便事業(株)	郵便代	10	随意契約	
2	大和総合印刷(株)	第3回 調査票等印刷	2	随意契約	
3	大和総合印刷(株)	あいさつ状等印刷	1	随意契約	
4	(株)イシカワ・コーポレーション	あいさつ状等封入・発送業務	0.9	随意契約	
5	(株)ミクニ商会	第3回 宛名ラベル・目隠しシールの購入(調査書類発送用、調査協力者礼状発送用)	0.8	随意契約	
6	(株)ミクニ商会	目隠しシールの購入(追加発送用)	0.3	随意契約	
7	(株)三陽堂	第3回 計はい箱の購入	0.07	随意契約	
8					
9					
10					